

令和4年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊新小学校 学校協議会

1. 総括についての評価

コロナ禍でも今年度は感染対策講じたうえで、教育活動を進めようと取り組んだ1年間だった。令和4年度学力経年調査結果は、全国比との比率で各学年とも若干1ポイントを下回り、不登校児童の在籍比率も前年より0.26ポイント上昇した。学ぶ愉しさを感じれる学校、興味溢れる学校を目指し、児童が意欲的に学びを行えるよう主体的な活動、体験的な活動を重視し、数値としても前年度以上の伸びを期待したが、十分な成果が上がらなかった。しかし、すべてが目標値に届かなかったというわけではなく、児童の意識調査並びに学力・体力等は、高い値で推移しているため、取り組みは評価できる。

2. 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

全市共通目標（小・中学校）

①令和4年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

③年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

学校の年度目標

④令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上を維持する。

（基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現）

⑤令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和3年度（R3 39%）より3%増加させる。

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

①R3 78.1%→R4 82.0%と前年度より上昇したが、目標値には届かない。▲

②R3 0.018→R4 0.02と上昇した。▲

③1名登校できるようになり、R4 16.7%◎

④R3 94.4%→R4 93.5% 前年度より数値は減ったが、目標を維持している。◎

⑤R3 39%→R4 39.3% 上昇はしたが、目標は達成できていない。▲

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

全市共通目標（小・中学校）

①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

②小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

③小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

④小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

（施策5 健やかな体の育成）

学校の年度目標

⑤令和4年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上を維持する。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

①R3 38.3%→R4 36.2%と前年度を下回っている。▲

②R3 国語 0.98 p 算数 0.92 p →R4 国語 0.98 p 算数 0.93 p と若干上昇しているが、目標値には到達できていない。▲

③R3 87.7%→R4 84.7% 目標値に到達できていない。▲

④R3 60.5%→R4 73.3%と大幅に向上。体力テスト合計点も、男子 53.61 女子 57.04 と男女とも全国平均より高い。◎

⑤ R3 71.1%→R4 61% 前年度より大きく減少。▲

年度目標：学びを支える教育環境の充実

全市共通目標（小・中学校）

①令和4年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%以上にする。

（基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進）

②令和4年度末にゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。

（基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

③令和4年度末の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和3年度より1ポイント増加させる。

(基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

学校の年度目標

④令和4年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 (基本的な方向8 生涯学習の支援)

⑤心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。

①R4 93%と目標を超えている。◎

②R4 夏季3日 冬季4日と目標に沿って実施できた。◎

③R3 86%→R4 85% 若干下がっているものの、目標数値を超える。 ◎

④R4 目標通り実施 ◎

⑤R3 86%→R4 88%と2p 上昇できた。◎

4. 今後の学校園の運営についての意見

○経年テストの結果が、前年度より下がっているが、以前に比べると高い。

○学年ごとに学習実態の違いがある。実態に即して指導の工夫が必要。

○前年度に引き続き体力が高い。地域やスポーツクラブの時間外スポーツ活動等が生きている。

○地域活動にかかる取り組みは、事前に相談してほしい。